

ゆゆチキプレゼント!

EYESCREAM

集・シャノン・ポップカルチャー 2012

E JAPAN POP CULTURE ISSUE

アイスクリーム

For all with the Vis

2012/

特別企画 890-

Special Features

JAPAN
POP
CULTURE
2012

ジャパン
ポップカルチャー
夏の陣!!

渡辺麻友×最前ゼロゼロ

渋谷系 feat. 初音ミク 桂正和 姥川実花 細田守 Chim↑Pom



やりたいんですよね」

卯城「確かに近くで見ると余計面白かった。生っぽさがヤバい！『か生なんだけ』

菅井「卯城くんも上の階から見てる時はすごく難しい顔をしてたけど下に降りたらすごく『コニコしてて、この違いだよなって思った』

もふく「実際にあのフルーツを食べても違うんだろうね。食べた人がすごく嬉しそうだったもん（笑）」

和多利「女性も結構食べてたんじゃないかな。女の子が食べるのはいいよね」

卯城「エリイちゃんも食べようとして挫折したよね。二列目ぐらいまで行ったんだけど、リュック背負つた男の人とぶつかって、『汗は無理だな』って諦めた（笑）」

菅井「ぼくらからも挫折したのが見えたたよ（笑）」

エリイ「リュックはなしだと思う！」

もふく「『笑』今回初めて美術館に来たような人が多かつたんですよ。でも本当に見たいんだなっていう熱気がありましたよね」

エリイ「女体盛りのモデルさんのファンがいたんだけど、延々とその子の良さを話してくれて。感じが良くて一生懸命さが伝わってきた。リュックで折れて、そのおじさんで和んだよ」

もふく「いろんな方がいるけど、紳士なオタクは多いですよ。彼らのマインドの中では、推しのライブ現場で推し以外のコンテンツに興味を示さないといふ態度が、そのアイドルの質まで低くするからどんな現場でも楽しめないといけないというのがある。だから最大限、同じ現場になったもの、それが例えエンタメだろうとアートであろうと、理解しようとしてくれる」

卯城「それってもはや楽しめられる側じゃないよね」

歌磨呂「うん、やっぱ組incはライヴがめちゃくちゃ良いの。オタ芸はマジで必見」

瀬田「他のオタがディアメンを見てすごいって言つてるくらいだから」

菅井「それにやっぱ組inc 자체がバンクスみたいな感じだからね」

エリイ「もふくちゃんはやっぱ組incをコントロールしてるの？」

もふく「発言からTwitterまで全てをチェックして

どこが良くてどこが駄目か指摘しますね」

卯城「すげーな。もふくちゃんはしっかりと考えて駄目出しますと思うけど、エリイちゃんはウチらに『そんなカスみたいなことしてるなら死んだ方がマシ』この三流が!!って本能のままに言う。もふくちゃんが女帝ならエリイちゃんは番長って感じ」

（笑）

一同（爆笑）

和多利「Chim → Pomは役割がすごくしっかりして、密なチームワークが出来てるんだよね。誰一人欠けても駄目っていうのがあって、それは見事だよ」

卯城「全然気にしてないけど、そうなるよね。集団としての一線の越え方にメンバー一人ひとりが自覚的なのかな」

菅井「うん、1人のアイデアで突き抜けるというのもアリだけど、皆でアイデアを積み上げていった方が更に面白い方向にいくよね」

林靖高「僕らはメンバー全員が納得したものしかやらんんですよ。さらに全員がアイデア盛り込んで、練り上げられていくから、アツいものを残しながらも完成度が高くなっていく」

エリイ「竜太がエリイに回して、エリイがチェックしたのを岡やんに渡して岡やんが竜太に回すっていう」

和多利「でも制作は稻岡君だったりするんだよね（笑）」

菅井「それで慣れてくるとすごい精度の高い作品になっちゃうけど、永遠の素人感は欲しいよね。慣れなくて生っぽい感じというか」

もふく「オタ芸の生まれる瞬間はまさに生、初期衝動なんだよね」

歌磨呂「例えば新曲をやると、皆最初はじっくり聴いて。回数を追うごとに進化していく」

瀬田「一曲聴いただけでできるからね。次には揃い始めてくる」

卯城「それってもはや楽しめられる側じゃないよね」

菅井「やっぱ組incはライヴがめちゃくちゃ良いの。オタ芸はマジで必見」

エリイ「もう組incをコントロールしてるの？」

卯城「これは見に行かない駄目だな」

ハードロック現場にいた人々の血が流れてるから」

卯城「ハードロック!?」

もふく「諸説あるんですけど、最初はハードロック現場で叫んでたのから始まつたとも言われています。ハードロックオタクの人達がアイドルオタに流れで段々出来ていつたらしくです」

卯城「これは見に行かない駄目だな」

もふく「現場によって色も違うし派閥もあつたりで面白いよ。関西から出て来たムフマサつてオタ芸とかもあって、地域によつても違う」

エリイ「カラーギャングみたいじゃん。しかも日本にしかない文化だよね」

もふく「それが伝承性だつていうのが面白い。ネットじゃなくて現場で伝播していくから本当にアナログだし」

菅井「オフィシャルがないもんね」

◆ Chim → Pomも現場に行ってアクティビティを起こされるじゃないですか。やはりそこは大切にしてる部分ですか？

エリイ「人つてネットとかが流行つても会つてる場が一番面白いのを本能的にわかるのかな。生の良さというか。画面を通じても楽しいけど、文化が発達するのは現場なのかなと思うよね」

もふく「接觸厨って言うんですよね。画面越しでアイドルを見るだけじゃなくて実際に接触するためにはライヴに行つたり握手会に行つたりすることなんだけど、バーチャルアイドルが流行り始めた時に全く別のベクトルとして会えるアイドルが流行り始め接触命。みたいな風潮が生まれて、それは時代の流れが関係してるんじゃないかなと思います」

卯城「人間は絶対に共有体験を求めてるよね」

瀬田「そう、現場ってどうしても人との共有があるからボップになるんだよね」

最前ゼロゼロ

熱いカルチャーの「最前OO」（最前列ド真ん中、ズレが全く無い状態を指すアイドル用語「最前ゼロゼロ」から派生した言葉）でありたい！イラストレーターのファンタジスト歌磨呂の呼びかけにより、秋葉原ディアステージ& MOGRAを運営するモエ・ジャパン代表もふくちゃん、ファッションデザイナー坂部三樹郎、SEMITRSPARENT DESIGN の菅井俊之が結集し生まれた超时空文化祭を繰り広げるハイバーエンタメ団体。撮影は、フォトグラファーであり、MIG代表の田口まさ。さらに影の立役者として、最前OOの裏方であり、ボーカロイドシリーズを手掛ける元アニメロサマーライブ総合プロデューサー、たーせーこと瀬田蔵人も参加。salzenOO.com



和多利浩一

ワタリウム美術館キュレーター。渋谷区神宮前三丁目出身。80年オンサンデーズ設立。美術書籍の出版社イシップレス設立後、90年にワタリウム美術館を開館。ドイツのドクメンタ9で初の日本人スタッフ、第1回南アフリカ・ヨハネスブルグ・ビエンナーレ日本代表コミッショナーなど国内外で活動。共著書に『チャイナアート』他。青山カラー通り商店会会長、原宿地区商店会連合会会長、原宿神宮前まちづくり協議会代表幹事などを務め、街づくりにも参加。www.watarium.co.jp



エリイ「思い出の共有だよね。喋りたくない人とも喋らないといけないのが辛いけど」

卯城「エリイちゃんは一日に会う人の数が多すぎるから（笑）」

◆ Chim↑Pom の作品もミニカルなんだけど、どこかしらに共有できるポップさがあるからより多くの人が見ようとするかもしないですね。

エリイ「生活に密着して作ってるから。自分の生活に入り込んでるものを作品にしてるから、それで自分との関係性が生まれるっていうところなんじゃないかな」

もふく「作品も全部すごく説明しやすいですね。

ジョン・レノンも知らないあの未鈴ちゃん（古川未鈴／でんば組.inc）が【Chim↑Pom】って渋谷の街でネズミを捕つてた人達でしょ？ まとめサイトで見ました』って言つてきたの。それくらいポップなんだって思つた」

卯城「うちらもそうだけどJR（フランス人アーティスト）『ひっくりかえる』展にも参加」とかも、最近のエクストリームな人たちの表現つて特にわかりやすいよね。『美術手帖』にも書いたんだけど、最近つてカタカナのポップでも小文字のpopでもなくて大文字のPOPなんだよ」

和多利【Chim↑Pom】の作品は特に日本独特のポップさを最後にバッと振りかけるでしょう。それが2ちゃんねるに載るようなことに繋がつてると、嫌う人も出てくるんだよ」

稻岡求「でも50・50が一番面白いですよね」

エリイ「うん、自分たちの作品に限らず批判を経た作品の方が面白いものが多い傾向があるかな。それに今、日本が一番ポップだと思うよ。私は秋葉原の文化は知らなかつたけど、熱氣があつて独特じゃん。結局、オリジナリティの確立がポップに繋がると思う。今までの人類の歴史でポップっていうのはオリジナルだし、それが日本にはある。この島国にクレイジーなことが集中してるのが面白い」

岡田将季「坂部さんはそういうところを意識的に取り組んで世界に発信してると思うんですが、ヨーロッパでのポップの捉え方ってどういう感じなんですか？」

坂部三々ヨーロッパはアートの国だから、ポップみたいな軽いものに対してどうしたらいつかわらなかつたけど、今はむしろ海外の若い人はアートよりもポップに興味を持つてる。だからあれだけ漫画が受け入れられるんだと思う。逆に日本ではポップカルチャーのおかげでアートが近くなつた。アートとポップカルチャーの間を翻訳できる人達が増えているのが今っぽいよね」

もふく「元々海外はハイカルチャーが存在しているかも。逆に日本は元々ハイカルチャーなんてなかつたとすら言える。だからオリジナルが生まれてるのも、洋楽なのに超東京っぽいアイドルの曲にもなつてるつすごいよ」

菅井「サブカルチャーとハイカルチャーって前よりちゃんと引きできなくなつてきてる印象だけど、どちらも現場に行つた方がいいというのは90年代っぽいというか、サロンっぽいよね」

卯城「でんば組.inc のビースティ・ボーイズのカバーも、洋楽なのに超東京っぽいアイドルの曲にもなつてるつすごいよ」

菅井「サブカルチャーとハイカルチャーって前よりちゃんと引きできなくなつてきてる印象だけど、どちらも現場に行つた方がいいというのは90年代っぽいというか、サロンっぽいよね」

瀬田「確かに」

歌磨呂「まず、たくさんの人が集まるつてことが実は一番すごいことな気がしてて。それだけでどうしあつて大きなバイブルが生まれる。定義とか、コンセプトやディテールとかつて意外と大きな問題じゃないんじゃないかなって思うんです。歴史は多分そうやって作られてるんですね。人が人を呼んで、大きさになり、世界を変えていく」

菅井「すごくベタな話の上に当たり前の話なのかもしないけど結局人だよね。東京は世界でも稀に見るくらいネットが発達していく、一時期はネットで全てのコミュニケーションが取れるようになると思われただけど、やっぱり直接のコンタクト 자체を完全に置き換えることは難しいということがわかつてきたんじゃないかな」

エリイ「面白い方がいいもんね。現場は面白いもん。でもエリイは秋葉原の現場を全然知らないからポップじゃないのかもー！」

一同（笑）○

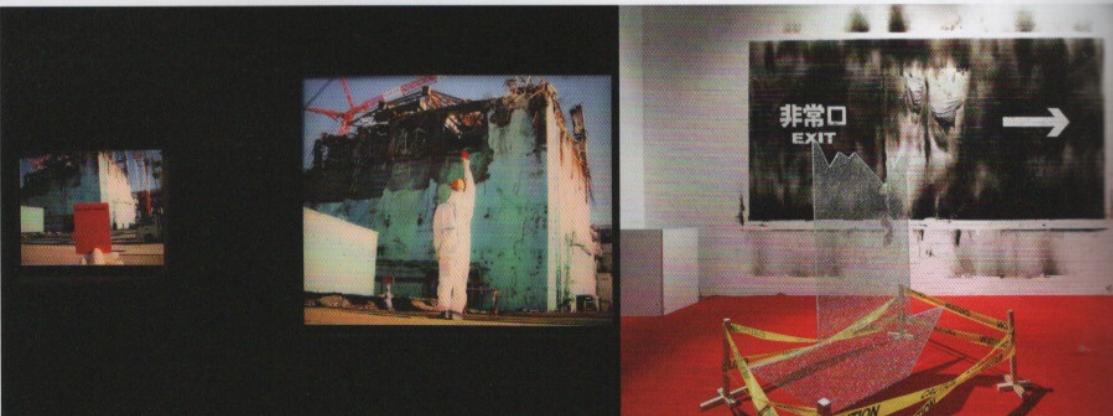
JAPAN POP CULTURE 2012



Chim↑Pom Red card 2011

Chim↑Pom

05年、エリイ、卯城竜太、林靖高、水野俊紀、岡田将季、稻岡求によってアート集団 Chim↑Pom を結成。時代のリアルに反射神経で反応し、現代社会に全力で介入した強い社会的メッセージを持つ作品で知られる。10年、河出書房新社より初の作品集『Chim↑Pom』を刊行。同年、アジア・アート・アワードの日本代表に選出され、さらにサンパウロ・ビエンナーレにも参加。海外でも勢力的に活動している。7月29日まで、ワタリウム美術館にて「ひっくりかえる」展を開催。chimpom.jp



Chim↑Pom（手前）つきささる、2012（奥）いきのこる、2012 撮影：今井記

ひっくりかえる—Turning around—展

会期：2012年4月1日（日）～7月29日（日）
会場：ワタリウム美術館 2F, 3F, 4F + 屋外展示
(東京都渋谷区神宮前3-7-6)

Tel: 03-3402-3001 www.watarium.co.jp

休館日：月曜日

開館時間：11:00～19:00

（毎週水曜日は21:00まで延長）

入館料：大人1000円／学生（25歳以下）800円

ペア券：大人2人1600円／学生2人1200円

会期中何度でも入場できるパスポート制チケット

*女性盛りは6月9日のみのイベントで、現在は展示されておりません。

田口まき

フォトグラファーとして活躍する傍ら、ファッションやカルチャー、アート、様々なジャンルのガール達の興味の対象をガール自身が編集し、全てのガールに発信していくプロジェクト「MIG」を展開。www.madeingirl.jp.

Props

vintage fur stole ¥52,500 (JEANNE VALET)

diamond mirror ¥14,700 / fur mat ¥39,900 / leopard rug mat ¥189,000 (new territory)

beanbag large (beige) ¥110,000 / beanbag square (blue) ¥87,000

cushion (blue, beige, orange, red) ¥25,000 each (VERSMISSEN / ZERO FIRST DESIGN)



TOKYO MUSE

Ellie (Chim↑Pom) × Nemu Yumemi (Dempagumi.inc)

PHOTOGRAPHED BY MAKI TAGUCHI

世界を股にかけた活躍を見せるアーティスト集団 Chim↑Pom の
紅一点エリイと秋葉原を拠点とした異色のアイドルユニットとして様々なジャンルの
壁をぶち壊すでんぱ組.inc の夢眠ねむ。幾多のカルチャーやトレンドが渦巻くトーキョーに
おいて今ひと際存在感を放つポップ・アイコン2人を、次世代ガールズ・クリエイティヴ・
コミュニティを牽引するMIGの田口まきがシート。

撮影 田口まき
photography Maki Taguchi (MIG)

スタイリング 山口壮大
styling Souta Yamaguchi

ヘアメイク 松橋亜紀
hair & make-up Aki Matsuhashi

編集 桑原亮子
edit Ryoko Kuwahara

協力 ルバロン・ド・パリ
special thanks Le Baron de Paris

エリイ (Chim↑Pom)

05年、エリイ、卯城竜太、林崎高、水野俊紀、岡田将季、福岡求によってアート集団Chim↑Pomを結成。時代のリアルに反射神経で反応し、現代社会に全力で介入した強い社会的メッセージを持つ作品で知られる。10年、河出書房新社より初の作品集「Chim↑Pom」を刊行。同年、アジア・アート・アワードの日本代表に選出され、さらにサンパウロ・ビエンナーレにも参加。海外でも勢力的に活動している。7月29日まで、ワタリウム美術館にて「ひっくりかえる展」を開催。chimpom.jp



Ellie

headress / gloves not for sale (Kanane Higashi / the Virgin Mary)

corset ¥48,300 (victorian / JEANNE VALET)

silver-ring ¥23,100 / black-ring ¥23,100 (YOSHiko CREATION)

mirror earring ¥3,675 / mirror necklace ¥5,145 (Chihiro Baba / Aquvii)



ワタリウム美術館にて開催中のエキシビション「ひっくりかえる」展。火を用いて絵を描いた「いきのこる」や福島の被災地を訪れた「気合い 100 発」、言わずとしれた「LEVEL'7 feat. 明日の神話」などを発表した Chim↑Pom を筆頭に、社会の常識や現状をひっくりかえすような活動を行う各国のアーティストを集めた注目の展示会場で、6月9日、ハイバーエンタメ集団最前ゼロゼロが女体盛りイベントを敢行。その興奮冷めやらぬイベント終了直後、Chim↑Pom と最前ゼロゼロ、そしてその両者を邂逅させる場を生み出したワタリウム美術館のキュレーター和多利浩一に、各々の制作の過程からポップカルチャー観までを語ってもらった。

Chim↑Pom 最前ゼロゼロ 和多利浩一

(ワタリウム美術館)

ディレクション 最前ゼロゼロ
direction SAIZEN00

撮影 田口まさき
photography Maki Taguchi (MIG)

スタイリング 小泉瑠里子
styling Ruriko Koizumi

ヘアメイク 川原三有里
hair & make-up Sayuri Kawahara

モデル 一ノ戸りの
model Rino Ichinohe

文 桑原亮子
text Ryoko Kuwahara

現場にはどうしても人との共有がある。だからポップになるんじゃないかな
(卯城竜太)

◆ 今回のイベントと一緒にやることになった経緯を教えていただけますか？

坂部三樹郎「以前僕が Chim → Prom と一緒にファッショントレンドショーやったり、個々でも繋がりがあったりして、卯城（竜太）君に『展示中に何か一緒にやりませんか』と誘つてもらつたのが始まりです」

卯城竜太「それで自由にやつてくださいとお願ひしたら女体盛りがきました（笑）」

菅井俊之「笑）。ワタリウムさんまでが完全に何でもOKだったのは有り難かったですよね」

卯城「そう、そもそもワタリウムがすごい。女体盛りもそうだし、僕たちが美術館内で火を使って絵を描くことも承諾してもらつて。その場の持つてるキャバシティをこつちから広げたいってところがある」

もふく「火を使って絵を描くのは他の美術館では絶対にできないだろうなと思ってすごくビックリしました」

和多利浩一「女体盛りも皆驚いてたね」

もふく「Twitterのトレンドキーワードになつたみたいですよ」

ファンタジスタ歌磨呂「まず女体盛りって言葉は知つてゐるけど見る機会なんてないじゃないですか。

ビジュアルのイメージがすごいし。その横でんば組in'が屋台やつてるとか、何か違う感じで単純に面白くてシニカルな空間が突然あるほうがいいかなと思つたんだよね」

卯城「予定調和はつまらない」というのはうちらにとつても座右の銘みたいになつてます。今回の展示ですら、やつているうちに何となくアクティビズムとか社会派とか、見られ方が固定してくるでしょう？ そなつてくるとどこかで破壊したくなる」

潮田誠人「俺達も初期衝動はめちゃくちゃ大事にしてるからまさに一緒にだよね」

歌磨呂「先入観は出来る限り少ない方が人間つて実は豊かなんじゃないか、と思っているんです。コレはこうだよね、つてイメージできてしまふものに未来はないんじゃないのかって。Twitterで見れたとしても、生で見た人にしかわからないっていう。そういうものにできる限り触れた方が人の記憶は豊かになつていつたりする。そういう事を最前ゼロゼロで

先入観みたいなものが出来る限りない方が人間の人生は豊かだし、そういうものを最前で作りたい（ファンタジスタ歌磨呂）